

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 情報システム戦略課
 担当名: 県民サービス・システム共同化担
 内線: 2294 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B18	統合プラットフォーム推進事業費			一般会計	総務費	企画費	企画調整費	電子計算運営費		
事業期間	平成27年度～	根拠法令	なし			針路	08	支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール 9	
						分野施策	0805	デジタル技術を活用した県民の利便性の向上	SDGsターゲット 9-1	
1 事業の概要 (1) 庁内システムが集約された、統合基盤の維持を引き続き行い、経費の削減と平準化を図る。これにより、個別システムの運用負担の軽減やセキュリティレベルの統一的な向上を図る。 (2) 共同クラウド化基盤を安定的に維持管理するとともに、参加団体・稼働システムを拡大する。 (3) ホームページを安定的に維持管理するとともに、セキュリティの向上を図る。 (2) 市町村システム共同クラウド化 △178,120千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 統合基盤運用及びシステム集約 統合基盤の運用(クラウドサービスの利用、回線費用、サポートデスク) 379,755千円 イ 市町村システム共同クラウド化 共同クラウドの運用(共同クラウド基盤、県域ネットワーク、サポートデスク) 488,274千円 ウ ホームページ管理システム運営 ホームページシステムの安定的な維持管理 71,945千円 (2) 事業計画 ア 統合基盤運用 クラウド環境に構築した統合基盤を安定的に維持管理する。 イ 市町村システム共同クラウド化 埼玉県市町村共同クラウドの利用を促進し、参加団体・稼働システムの拡大を図る。 ウ ホームページ管理システム運営 ホームページ管理システムを安定的に維持管理する。 (3) 事業効果 庁内情報システム運用経費の削減、平準化、管理負担の軽減 システムのセキュリティレベルの向上とデータセンターの活用によるIT-BCPの向上 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 情報システムの集約を進めていく中で、システム運用業務の見直しを図ることで、職員の業務負担軽減を図る。 また、クラウドサービスを利用することで、民間のクラウドサービス事業者が持つセキュリティ機能や災害時の対応力を活用する。 (5) 前年度からの主な変更点 ア 統合基盤仮想化ソフトウェアのバージョンアップ業務が完了 イ 市町村システム共同クラウドの運用と稼働システム・参加団体の拡大 (6) 補正予算の概要 クラウド利用料の委託料節減による減						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10) 市町村負担あり										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×4.0人=38,000千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
		諸収入								
決定額	△178,120	△1,944						△176,176	939,974	
現計額	1,118,094	8,463						1,109,631		

事業内訳書

事業名	統合プラットフォーム推進事業費		
単位事業名	市町村システム共同クラウド化	予算額	△ 178,120千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	△178,120	—	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>クラウド利用料節減による減</div> <div style="text-align: right;">△172,443千円</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>データ連携機能の運用委託料節減による減</div> <div style="text-align: right;">△5,677千円</div> </div>
合計	△178,120	—	